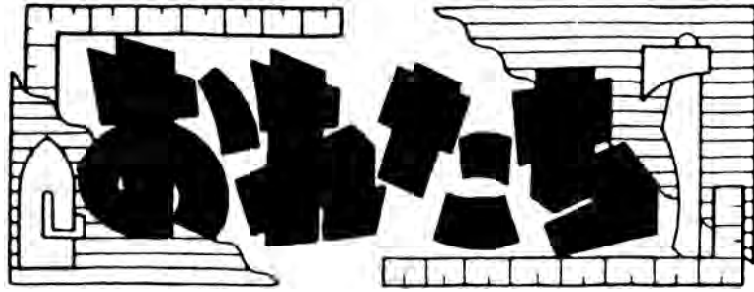


無料法律相談日の案内

2月21日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

1月当初組合員数 = 2006(-3人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・津田宗久 / 編集長・薄井章
http://www.doken-arakawa.org/

大相撲

焦土の中から復興へ

国民的娯楽だった相撲は国民の生きる活力

【日暮里一川又好一】令和になって初の相撲1月場所(初場所)が1月12日初日に両国・国技館で開催されます。組合員の皆さんは東京都中央区日本橋浜町公園で、大相撲の本場所が開催された事をご存知ですか。1945年(昭和20年)8月終戦、東京は焼け野原となりました。戦後の混乱から生存に苦難する国民の間で、生きる活力として人気を博したのは、大相撲でした。その

国民的娯楽だった相撲も戦災から逃れる事はできませんでした。そこに日本橋浜町に住んで居た新田新平さんが巨費を投じ、相撲協会に寄付をして仮設国技館を建設しました。1949年(昭和24年)1月12日に初日を迎えた大相撲初場所は、復興への足がかりとなりました。今回は浜町の自宅へお伺い、娘さんの新田静江さんより貴重なお話しを伺いすることができました。

戦災の苦難を乗り越えて

戦後は各部屋の離散状態となり、本場所開催をするにしてもGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)に許可を得なければならぬなど、様々な問題を抱えながら大相撲の復興は始まりました。

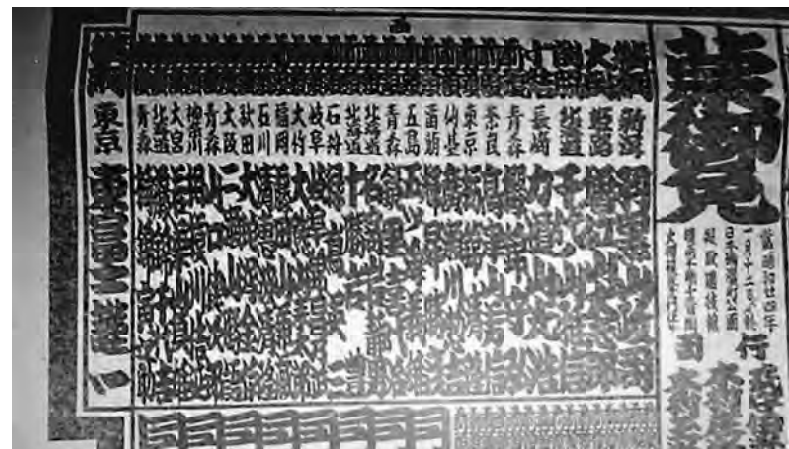
GHQによって柔道や剣道は禁止されていました。本場所後、国技館は連合軍によって接収され、モリアルホールとして改称・改装されました。代わりに進駐軍の管理下にある神宮外苑相撲場の使用が許可されて、1947年は6月と11月、48年は5月と10月に行われました。そして雨天にかかわらず興行できる仮設国技館建設が検討され、都有地であった日本橋浜町公園が候補地となりました。GHQとの度重なる困難な交渉を経て、ついに観客1万人が収容出来る木造の仮設国技館が許可されました。

東富士の後援会会長であった新田新平さん(明治座復旧のメンバー・明治座社長)の相撲協会への寄付により、仮設国技館を建設しました。49年の1月春場所(44年の春より5年ぶりの春場所復活となる)1月12日から24日までの13日間、興行が行われました。この春場所の幕内最高優勝は、10勝2敗1分けて新横綱東富士欽壹となりました。また、1月15日が初めて「成人の日」と制定された。また、1月15日が初めて「成人の日」と制定された。また、1月15日が初めて「成人の日」と制定された。



左から、新田新作、東富士欽壹、新田松江(妻)さん

希望の光が輝く大相撲
この日本橋浜町仮設国技館の地元に住んでいた横綱



1949年1月番付表

戦後初めて「満員御礼」となりました。殊勲賞三根山、敢闘賞国登、技能賞二柄錦でした。5月の夏場所は15日から29日の15日間で行われ、幕内最高優勝は大関増位山が決定戦の末に優勝し、戦後初となる優勝パレードを出羽海部屋まで徒歩で行いました。また殊勲賞二羽島山、敢闘賞二羽島山、技能賞二五ツ海でした。この年の春場所夏場所の2回限りで、日本橋浜町仮設国技館は木造のため取り壊されました。仮設国技館の建設だけでなく、新田新平さんは東京大空襲で焼失し放置されていた有名な明治座を、松竹から買い取り、明治座株式会社を設立し、1億3千万円もの工費で明治座を50年12月に再建しました。今日の大相撲は戦争による苦難を国民と共に乗り越えて存在していると感じます。生活に困難であった戦後の国民に復興の活力として欠かせなかった一つが相撲です。大相撲から戦争を捉える事で、戦争の惨禍と平和の尊さについて考える機会になれば幸いです。



左から川又好一記者、新田静江さん

教宣部だより



薄井章教宣部長

【教宣部発】謹んで、新年のお慶びを申し上げます。年頭にあたり、組合員のみなさまならびに、ご家族のみなさまのご健勝をお祈り申し上げます。また、飛躍の一年となるようご祈念申し上げます。昨年、台風が各地に上陸し、大きな被害をもたらしました。地球温暖化による異常気象は今後も増加することが想定されています。各家庭においても災害時の備えをしっかりと行うようお願いいたします。さて私たちの組合でも組織強化に努めておりますが、この教宣部も後継者の育成に切実に悩まされています。機関紙は組合の軌跡であり、道しるべとしても重要な役割を担っています。現在は600号を超え、700号を目指している次第です。幸いながらベテラン揃いなので育てる準備は万端です。ぜひ私たちと一緒に新開づくりをしてみませんか。お待ちしております。この一年が、みなさまにとって実り多い年になりますようお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



新年あけまして

おめでとうござります

新年のご挨拶

東尾久1分会
津田宗久 委員長



新年明けましておめでと
うございます。こうして多
くの仲間と共に新年を迎え
られ嬉しく思います。元号
は平成から令和となり新し
い時代を迎えました。

今年、台風による自然
災害が各地に大きな被害を
残していきました。東京土

建では全建総連として被災
地でのボランティア活動や
カンパに取り組みました。
被災地で仮設住宅の建設
など、復興に大きな力を発
揮してきたのが私たち建設
職人です。昨年1月に結成
されたチームナマス荒川救
助隊では、学習会などの取
り組みや消防署の協力によ
り少しずつですが成長して
おります。

さて、人々の仕事と暮ら
しに欠かせないのが建設産
業であり、その産業の根幹
となり産業を支えているの
が私たち建設労働者です。
ところが、残念な事に昨年
もいくつかの建設作業現場
で事故により亡くなった仲
間がいます。建設労働者は
いものです。しかし人類
には最も大切で必要欠く
べからざるものです。

戦後日本の75年間の繁
栄を考えると、その繁
栄の最大の基となったも
のは平和です。為政者は
政治の運用云々と巧言を
振りまいているが。
その平和の礎は「日本
国憲法」です。憲法前文
の中に「日本国民は、恒
久の平和を念願し、人間
相互の関係を支配する崇
高な理想を深く自覚する
のであって、平和を愛す
る諸国民の公正と信義に

日々危険と隣り合わせで働
き生計を立ててこの国の経済
を支えています。しかし、
平均賃金は全産業と比べ年
間100万円以上も低く、
逆に労働日数は30日以上も
多く働いています。少子高
齢化により建設労働者は減
少し、若年層の入職3年以
内の離職率も他の産業と比
べると高くなっています。
今、私たちに求められて
いることは建設産業全体が
夢と希望、そして誇りをも
って働ける業界にすること
だと思えます。まずは賃金
単価の向上、週休二日制な
ど労働環境を改善し明るい
未来を切り開いて行きまし
よう。



毎年新しい年を迎えて
新年の挨拶を交わし、正
月のひと時を平安に過ご
せるということは、大変
喜ばしいことです。安寧
(平和)とは平凡で普遍
的なものですが、扱いに
よっては激しく壊れやす

信賴して、われわれの安
全と生存を保持しようと
決意した」
日本は明治から昭和の
敗戦まで77年間に、海外
的に日清・日露・第一次
世界大戦・日中・太平洋
戦争を開戦し、その惨禍
の経験から憲法前文の決
意が読み取れます。
その後の日本は、戦後
75年間に戦闘により一人
の命も失っていない。こ
の事実は世界の模範で
す。平和を願う国民には
憲法を守るのは義務で
す。

くの仲間と知恵を出し、力
を合わせて立ち向かう、こ
れが労働組合の本質だと思
います。今年一年皆様の協
力をお願いしまして新年
の挨拶とさせていただきます。
どうぞ本年も宜しくお願
い申し上げます。

年の瀬は餅つきで 令和二年に希望をこめて

荒川分会

【荒川II磯部正三記者】
今年も荒川分会恒例の餅つ
き大会が22日に並木畳店前



並木畳店前で餅をつく分会の仲間

今年で10回目となる餅つ
き大会は並木畳店前に開催
場所を移して初めてとな
り、少々不安もありました
が、始まってみると続々と
分会の組合員さんと他分会
の常連さんが仲間を掛け
て行われました。

分会長、担当者のみなき
んが前日から食材や米と
ぎ、当日は朝から食材の運
搬、会場設営をしてくれま
した。当日はザ・レディー
ズの会員さんもお手伝いに
来てくださいました。

地域公演案内

お申し込みは、ACC(公財)荒川区
芸術文化振興財団ホームページへ



●第31回 三遊亭円楽・立川ぜん馬二
人会
【日時】2020年1月20日(月)
午後6時30分開演
【会場】ムーブ町屋ムーブホール
【料金・全席指定】3,500円自由席
【演目】
立川ぜん馬「紺屋高尾」「たぬ賽」
三遊亭円楽「湯屋番」「ずっこけ」

組合員と同居の親族まで地域公演を
観劇された方に補助金が出ます。
2,000円～4,999円の観劇は500円、
5,000円以上の観劇は1,000円の補助金
がです。
観劇補助の申請は観劇日より1カ月
以内。チケットの半券を持参し組合事
務所へお越しください。

第1回プロの講座で貴重な体験 チャレンジオセロ大会

【町屋南II薄井章記者】

今では誰もが知っている
「オセロ」は1973年に
茨城県出身の故長谷川五郎
氏の発明で誕生したと言わ
れ、中学時代に、仲間たち
と「休み時間10分以内を決
着のつくゲームを」という
発想から考え付いたゲーム
で、当時は牛乳瓶のふたを
使っていたそうです。ルー
ルは簡単でありながら奥の



夢中で取り組む子供たち

深いオセロ。覚えるのは一
分、極めるのは一生といわ
れ、今では世界大会まであ
ります。

2019年12月8日、東
京土建第1回チャレンジオ
セロ大会が開催されまし
た。
ゲストにはオセロ九段の
高梨悠介さんと、同じく坂
口和夫さん、オセロ
七段の清水直希さん
が参加し、指導いた
だきました。

当日は64人の参加
があり、オセロ講座
を行うなど貴重な体
験もできました。ま
た、子供の参加も多
く楽しそうに夢中に



中村分会長と委員長のツーショット

も、再来年も
続けていきま
いと思いま
す。来年も参
加お待ちして
います。朝か
ら準備してく
れた分会とザ
・レディース
の会の皆さ
ん、ご苦労様
でした。



山内仁志さん＝荒川分会

なって取り組む姿も見られ
ました。

優勝は1986年のオセ
ロ全日本選手権準優勝経験
者の片山雄二さんでした。
準優勝には荒川支部の組

も貴重な体験をさせていた
だきました。是非、第二回
大会にも参加をしたい」と
と、次回の意気込みも語っ
ていました。

フランススコ教皇が来日

2020年はNYで原水爆禁止世界大会



崎と広島を訪問した教皇は、原爆による破壊行為が2度と起こらないよう、阻止に必要となるあらゆる措置を講じるよう訴えました。

恒久平和へ

【町屋南】薄井章記者「ローマ・カトリック教会のフランススコ教皇が11月23日に日本に38年ぶりに来日しました。フランススコ教皇は2013年の就任以来、繰り返し核廃絶の必要性を訴え、広島と長崎の被爆の歴史から「人類は何も学んでいない」と発言しました。

今回の訪問のテーマは「すべての命を守るため」とされています。長崎と広島を訪問した教皇は、原爆落下中心地碑に献花・黙とうをした後、核兵器廃絶を訴えるスピーチを行いました。「長崎は、核兵器が環境と人間に対していかに悲劇的な結末をもたらすかを

示す証人です。軍備拡張競争は、貴重な資源の無駄遣いです。本来それは、人々の全人的発展と自然環境の保全に使われるべきものです。

今日の世界では、何百万という子どもや家族が、人間以下の生活を強いられています」と述べ最後に被爆地の訴えに耳を傾けるべき

だと強調しました。長崎訪問の最後には原野球場でミサを行い約3万人が参列しました。

今年行われるNPT再検討会議に合わせて、ニューヨークで原水爆禁止世界大会が開催されます。その成功に向け私たちも地域での運動を強化していく必要があります。

最賃・ディーセントワークデー

【西尾久】増山國吉通信員

12月15日、新宿東口アルタ前にて全労連・国民春闘共闘・東京春闘共闘による最賃・ディーセントワークデー統一宣伝行動が行われました。参加者は全体で150人、東京土建からは67人が参加、荒川支部からは2人が参加しました。10月から新しい最低賃金が決まり、東京都では1013円、神奈川県では1011円となっています。しかし一番低い地域では790円とその差は223円あります。最賃が低い地方から高い都市に若者や労働者を中心に集まり、人手不足になり地方経済が大きく疲弊している実態を訴え、賃金底上げで雇用を拡大しようと呼びかけました。アンケート結果では最低賃金が1500円になったら焼肉、旅行、歯医者に行きたいなどの声が多く寄せられました。駅前はサウンドカーによるデモ行進を行い、ラップ調で「内部留保分を最賃上げろ、消費税増税分を最賃上げろ、パートなめるな、非正規労働者なめるな、最賃1500円に上げろ」とアピールをしながら新宿西口から東口まで宣伝をしました。

「日暮里」川又好一記者「遅れていた紅葉が増してきた12月8日」

【日暮里】川又好一記者「遅れていた紅葉が増してきた12月8日（日）JR駒込駅から徒歩8分位の会場に到着。会議室の正面横断幕に「東部ブロック会議、足立・荒川・葛飾・文京・台東、幹事支部文京支部文和会」の文字が輝いていた。正午より会議が始まり、司会高橋さん（文京支部）より、今年最後の東部ブロックシニア会議、各支部から率直なご意見を

を頂きたいと発言がありました。そして、伊関文和会会長より、高齢組合員が増えている中、シニア会が元気で有ることが大切と訴え、在が無視されているなど、活発な意見が出されました。荒川支部からも、濱田会長がその問題点を指摘し、本部シニア会会長も対応していきたいと答えました。

活発な意見が出された会議の様子など、活発な意見が出されました。5支部から参加者18名でした。

シニアの会・東部ブロック会議・交流会



活発な意見が出された会議の様子など、活発な意見が出されました。5支部から参加者18名でした。

第5回期日行動

われ、参加者は約3000人、荒川支部からは4人が参加しました。

1階講堂で院内集会を行いました。東京2陣の吉田重雄代表より先月11月11日の福岡高裁での判決について、国と企業に勝訴、また一人親方に対しても国の責任を認める判決が下されたことに「裁判長が神様のように見えた」ユーモアを交えて報告しました。最後に参加者全員が、裁判をしなくても被災者に対して速やかに補償がなされる「建設石綿被害者補償基金制度」の創設を求める議員要請を行いました。

建設アスベスト訴訟 神奈川2陣

【荒川】磯部正三記者「12月6日東京高裁前にて、神奈川2陣の支援集会が行

あやまれ・つくなえ・なくせ アスベスト被害者 東京土建

われ、参加者は約3000人、荒川支部からは4人が参加しました。

1階講堂で院内集会を行いました。東京2陣の吉田重雄代表より先月11月11日の福岡高裁での判決について、国と企業に勝訴、また一人親方に対しても国の責任を認める判決が下されたことに「裁判長が神様のように見えた」ユーモアを交えて報告しました。最後に参加者全員が、裁判をしなくても被災者に対して速やかに補償がなされる「建設石綿被害者補償基金制度」の創設を求める議員要請を行いました。

新年号は読者への年賀状
2020の全国新年号
機関紙誌コンクール

発表・表彰式 2020年2月16日(日)
会場・ラパスホール(東京労働会館)
審査結果は、審査委員会終了後、会場案内とあわせてお知らせします

4つの特典

- ①全応募紙誌を表彰
全応募紙誌をどれも表彰。特別賞以上には副賞を授与し、副賞をたたえ式や、最優秀賞の最も優れた紙誌1点、優秀賞の最も優れた紙誌数点を、審査は、実行委員会が選定する審査委員が行います。
- ②入賞紙誌を全国で紹介
入賞紙誌を『機関紙と宣伝』誌で全国で紹介します。
- ③全応募紙誌に講評
応募紙誌のひとつひとつに審査委員が良い点、改善点を具体的に指摘した個別講評を書き、お返しします。
- ④みんなで合評
発表・表彰式ではみんなで合評します。審査委員も参加し、直接アドバイスします。全応募紙誌を見ながら、交流し、感想、元気の出る表彰式です。

主催 2020全国新年号機関紙誌コンクール実行委員会
(事務局・日本機関紙協会) 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館7階
TEL.03-3454-8241 FAX.03-5476-6099
www.cpi-media.co.jp/ikanshi-keyes/ E-mail: kilanshi-net@h2.dion.ne.jp
送金先 名義 日本機関紙協会(口座 かんしんきょか)
郵便振替 00100-2-177118 中央労会・田町支店(種) 1003079 かつ3銀行・新橋支店(種) 78897

協賛 全国家族新聞交流会

【締切】1月20日までに支部に提出して下さい。



新宿東口アルタ前にて訴える様子

【荒川】磯部正三記者「12月6日東京高裁前にて、神奈川2陣の支援集会が行

平和取材

平和の中の影

語らずに死ねるかを合言葉に

【南千住「竹達浩記者」】第二次世界大戦を最前線で悲惨な体験した人たちが体験を語る「戦場体験者」と出会う茶話会が12月6、8日、「戦場体験保存の会」の主催で、台東区浅草公会堂で開催されました。1945年に20歳で召集された兵員でも戦後75年の今は94歳になります。高齢化が進み体験者の数

も激減し、更に安倍政権が「戦争のできる普通の国」を目指すための改憲動議が強まるなか、最大の危機を感じ同会は「語らずに死ねるか」を合言葉に茶話会を開催、取材しました。

現地招集

講師の坂上多計二（さかうえたけじ）さん（1925年（大正14年）台湾生まれです。18歳のときフィリピン・ミンダナオ島ダバオ市郊外の海軍直営農場に、軍属として現地の陸海軍に生鮮食料品を補給する仕事に従事しました。



講師の坂上多計二（さかうえたけじ）さん

戦争は物量

兵により営農困難になり海軍司令部の命令により、一週間で元の農場へ現役兵軍属部隊小隊長として派遣されて営農指導を続けました。

明日は我が身

毎日食糧探しにジャンクルを徘徊すればブーンと死臭が漂い、ラワンの大木によりかかり遠目に微笑んでいる日本兵に近づいて見ると、既に死んでハエが目や口許にウジを産み付けようめいているのが、薄目を開け白い歯を見せているように見えるのであった。明日は我が身である。

情けは無用

ある夕方、弱った日本兵が小屋に『俺を泊めてくれ』ときたが、我が隊も衰弱死亡が頻発し極限状態で拒絶したら悲しい顔で出て

戦争放棄 嬉しかった

いま日本政府は周辺国の脅威を煽り、憲法を改憲して「緊急事態の条項」を取り込むとしています。「緊急事態の条項」とは

内閣総理大臣にフリーハンド（全権）を与え極めて危険です。それは先の大戦

今月の

1枚



【釣りキチ〇平発】みなさんお久しぶりです。荒川支部の釣りキチ〇平です。今回で2回目の投稿になりますが、前はヒラメの記事を投稿させて頂きましたが、今回は言わずと知れた高級魚のサワラです！

サワラは毎年、秋になると東京湾の奥まで回遊してきます。運が良ければ浦安の護岸からルアーを投げて釣れることがありますが、そんな奇跡の出会いを待ってられないので、ボートに乗ってサワラを探しに沖へ出ます。ナブラと言って、サワラが餌となる小魚を海面に追い込み、捕食するところへ小魚を模したルアー（疑似餌）で誘いをかける釣り方です。ルアーを投げ、巻いてくると突然「ガツン！」とルアーをひたたくように引張られます。ですが、せっかく掛かっても、あの鋭い歯で簡単にラインを切られてしまうことも多く、なかなか釣らせてもらえません。また、こうしたナブラを一度も見つけられずに帰ることもしばしば。そんなナブラに出会えればラッキー。さらに釣れたら超ラッキー。3kgほどの大きさで2万円もの値段がつくこともある高級魚のサワラちゃんの紹介でした。釣れたら塩焼き、炙り刺し、西京漬けと最高のご馳走です。皆さんもぜひ！

荒友会

自転車保険学習会

【とき】2020年2月15日（土）17時～
【ところ】支部会館
【参加対象】シニア会員・役員

こよみ

2月

9日	初七
11日	建国記念の日
14日	聖バレンタインデー
15日	秋田・横手かまくら（16日）、水戸梅まつり（3月29日）
19日	雨水
23日	天皇誕生日
25日	赤都・北野天満宮梅祭

場体験者には一目瞭然です。私は平和憲法が廃止された時の感激、戦争放棄の大切さを老骨にムチ打ち生きている限り伝えていきます。と語ってくれました。

ひとくち映画情報

『パラサイト 半地下の家族』

ポン・ジュノ監督



©2019 CJ E&M CORPORATION, BARLSON E&A ALL RIGHTS RESERVED

2019年のカンヌ国際映画祭で韓国映画として初めて最高賞パルムド

2019年のカンヌ国際映画祭で韓国映画として初めて最高賞パルムドを受賞。貧富の格差や失業問題、受験競争など韓国社会の現状を下地に、笑いと涙、スリルとサスペンスが詰め込まれた作品です。父親ギテク（ソン・ガンホ）はじめ家族全員が失業中で、日が当たらず、電波も届きにくい半地下の住宅で暮らすキム一家。ふとしたことから長男ギウが、裕福なIT社長一家が暮らす高台の豪邸で高給の家庭教師を

1945年5月米軍がバオ港周辺に上陸し、連日の砲撃しかも絨毯爆撃により農場は壊滅、死傷者も続出、営農困難になり農場始まります。続いて妹ギジョンも美術家庭教師としてこの家に足を踏み入れ、キム一家は口八丁手八丁で急速に社長一家の信用を得ていきます。そして社長一家が出かけた嵐の夜、予想もしない出来事が起きて……。ポン・ジュノ監督は「グエムル―漢江の怪物」などで知られます。1月10日から全国で公開しています。